

第1回 議会改革推進特別委員会記録

日時：令和3年11月2日(火)

10時34分～10時45分

場所：第4委員会室

【出席者】 足立委員、村武委員、小川委員、佐々木委員、田畑委員、西田委員、
牛尾委員

【委員外議員】 柳楽議員

【事務局】 古森局長、近重議事係長

臨時委員長の紹介（浜田市議会委員会条例第11条第2項の規定により年長議員を指名）

議 題

1. 委員長の互選について

牛 尾 昭 委 員

2. 副委員長の互選について

西 田 清 久 委 員

3. 座席の指定について

4. その他

- ・今後の委員会開催について

○次回開催 11月 15日(月) 全員協議会終了後 全員協議会室

【議事の経過】

(開議 10時34分)

近重議事係長 第1回議会改革推進特別委員会を開催させていただく。最初に臨時委員長を紹介である。改選後初めての特別委員会なので、浜田市議会委員会条例の規定により年長委員である牛尾委員にお願いしたい。よろしく
 お願いする。
 牛尾臨時委員長 そういふことなのでよろしくお願いする。

議題1 委員長の互選について

牛尾委員 お諮りする。委員長の互選は指名推選の方法と投票の方法があるが、
 いずれかにしようか。
 小川委員 指名推選でお願いする。
 牛尾臨時委員長 ほかにないか。
 (「なし」という声あり)
 では指名推選でよろしいか。
 (「はい」という声あり)
 では指名推選にする。推選をお願いする。
 小川委員 牛尾委員にお願いしたい。
 牛尾臨時委員長 ほかに、ほかの方の推選はないか。
 (「なし」という声あり)
 では、牛尾が委員長を受けさせていただくことになったので、どうぞ
 皆よろしくお願いする。

議題2 副委員長の互選について

牛尾委員長 続いて副委員長の互選に移りたい。いかがでしょうか。
 小川委員 指名推選でお願いする。
 牛尾委員長 ほかにご提案はないか。
 (「なし」という声あり)
 では指名推選ということでよろしいか。
 (「はい」という声あり)
 では指名をお願いする。
 小川委員 西田委員にお願いしたい。
 牛尾委員長 ただいま西田委員の推選があつたが、ほかに推選があるか。
 (「なし」という声あり)
 では西田委員に決定したいと思う。よろしくお願いする。
 西田副委員長 牛尾委員長をしっかりとサポートして、新しい議会改革を積極的に進め
 ていきたい。よろしくお願いする。

議題3 座席の指定について

牛尾委員長 正副が決まったので、座席をどうしようか。覚えやすいような座席にしたほうがよい。これでよいのでは。

近重係長 通常は副委員長が左側だが。

《 席の移動 》

ではこうしようか。

(「はい」という声あり)

議題 4. その他

・今後の委員会開催について

牛尾委員長 次回の開催を今日決めておきたいのだが。事務局から第1候補を聞いている。11月15日全員協議会の後はどうだろうかということだが、どうだろうか。全員協議会がどのくらいで終わるかわからないが。終わり方によっては午後になるか。

古森局長 まだ議題がわからないので。

牛尾委員長 一応全員協議会の終了後に特別委員会をやるということで。議題についてはとりあえず前特別委員会のおさらいを少ししないといけない。皆せっかくこの委員会にお出かけになったので、これだけは皆でやりたいということがもしあれば、申し出ていただきたい。どうだろうか。

西田副委員長 昨日の所信表明演説のときに佐々木候補が言われた内容がある。ここで再度聞いておきたい。

佐々木委員 これはこの前の研修の中でも出だし、受けた方は皆意識を持っておられると思うが、予算決算委員会、これはずっと前から今の形でやっていて、非常に時間も長い、市長以下たくさんの幹部の方、議員もそうだが全員出席ということで、かなり高い経費をかけて実は運営しているというのが今の流れだった。それに伴って内容も充実はしていると思うが、そうでもないところも端々に見られたりして、より精査された、もっと時間が短く、より目的達成という内容になればということで、昨日少し提案させてもらったのは、一応審査は予算決算委員会に付託される。それをもって常任委員会、三つあるが、総務と福祉と産業の三つで分科会という形で審査して、その結果を持ち寄ってまた全体の予算決算にかける流れはどうかと。これについては常任委員会以外の意見をどうするかが問題としてあるかと思うが、この辺も検討しながら、もしこの委員会の中で議論されればどうかと思う。

牛尾委員長 今の話は全国事例で言えば分科会方式を取っているところもある。平成17年の合併のときに、予算決算一体の原則にのっとって一緒にしたのである。そのかわり膨大な時間を引っ張るということで問題があるので、ということで、分科会方式にされているところが幾つかある。

今後議論すればよいことなのだが、今のやり方は全議員が全てのことを全部わかるようになっていくというか、議員が育つには今のやり方がよいということで当初導入したのだが、どう感じるかによってそういう

こともあるので、これも2年かけてしっかり議論すれば、どちらがよりよいかをやっていけばよいので。貴重なご意見なのでやっていきたい。

それから、特別委員会初めてお出かけになった方もいらっしゃると思うが、今回、議会広報広聴委員会が頑張ってくれて、マニフェスト躍進賞を取った。振り返ってみれば平成20年には僕らは審査員特別賞。市議会ではナンバーワンだった。その次の年もホームページ賞にノミネートされている。それから10年以上たってから、久しぶりに表彰された。非常に喜ばしい。

今回、私は前任期の特別委員長の名前でマニフェスト大賞に実は応募した。それは1年間全議員が一般質問をしたということで応募したのだが、それくらいでは引っかけなかった。

せっかくこの7人で新しい議会改革をスタートするわけだから、できれば議会改革の取り組みがマニフェスト大賞のどちらかの部分に応募できるようなレベルまでできればと勝手に思っている。よろしく願います。ほかに何かないか。

足立委員

私は前回この会に参加してなかったのだが、YouTube等で拝見させていただいた。その中で、議員定数の問題が、前回は議員定数等議会改革推進特別委員会だったと思うが、今回この議員定数という文言が取られたが、議員定数というのは前回ある程度の答えを出されたということだが、今後も、前回市民アンケートで18人という数字もあったし、その数字が適正なのか22人が適正なのかというところは、引き続き議員の中でも議論していくべきではないかと思うので。検討項目の中で引き続き調査は入れてもらうことは可能なかどうか。

牛尾委員長

足立委員は4年間いなかったのもので事情はわからないと思うが、4年任期の中で言えば前半を議会改革、後半は議員定数等も入れてやるというのが大体の流れになっている。最初から議員定数の問題をやるというのは、必要ないのではないか。後半なら次の選挙に向けてそういう議論はしなければいけないが、前半からそこまでする必要はないのではと思うのだが。後半は当然議員定数の問題は、減らす、減らさないではなくやらなければいけないのだが、前半からというのは今までやったことないし。やる必要があればやる必要があるだろうけど。意見として受けとめておく。ほかに何かないか。

(「なし」という声あり)

では次回は11月15日ということなので、今言われたようなことも、おさらいも含めてやっていくということで、よろしく願います。

(閉議 10時45分)

浜田市議会委員会条例第65条の規定により委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会 委員長 牛尾 昭 (印)